

ゆめキッズ

発行／淀川区子育て支援連絡会
TEL:06-6308-9939(淀川区役所 子育て支援室)



夢ちゃん



梅雨が明ければ、楽しい夏が始まります。
体調管理に気をつけながら、元気に夏を迎え
ましょう！！

※ゆめキッズに記載の事業やイベントについて、
諸事情により日程を変更する場合があります。
事前にご確認の上ご参加ください。



こどもの歯のおはなし



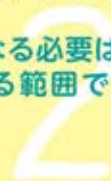
「赤ちゃんの歯磨きってどうすればいいの？」と悩む保護者の方が多いと思います。ネットには情報があふれ、中には極端なものも少なくありません。情報通りに歯磨きトレーニングが上手に進む訳でもありません。では、どうすればいいのでしょうか？

もちろん楽しくケアできればそれに越したことはありませんが、お口のケアを泣かずにさせてくれる赤ちゃんは本当に少ないです。ただ、1歳半を過ぎるあたりから唾液の量も減り、様々な食べ物を口にするようになるので虫歯になる危険性が高まります。では、それまでにできる事を考えてみましょう。

虫歯菌の感染を防ぐため、養育者の方が自身の口腔ケアをしましょう。
虫歯を放置しないで定期的に歯科医院でクリーニングと点検をしましょう。



食器の分別、かみ与えをやめましょう。
神経質になる必要はありませんが、出来る範囲でやってみましょう。



砂糖が多く含まれる食べ物や飲み物を控えましょう。
お家の方がコントロール出来る間は出来るだけ控えましょう。



お手入れ方法については、歯が生えていきなり歯ブラシで磨くのは赤ちゃんにとって気持ちのいいものではありません。

- ◎歯が生える前からミルクの後は清潔な濡れたガーゼで優しくお口の中を拭きましょう。
- ◎少し歯が生えてきたら、綿棒で拭いてみましょう。
- ◎そして、乳臼歯が生える頃には歯ブラシに替えましょう。

まずは、

といった具合に徐々に進めてみてはいかがでしょうか。初めのころは短時間で構いません。お互いにケアする事、される事に慣れましょう。嫌がるのを前提に、「あなたの歯を守るため」の姿勢で、お顔も声も力も優しく接してあげて、いつの日か虫歯予防が当たり前の習慣になれば素晴らしいと思います。



熱中症を 予防しましょう

■子どもの熱中症の特徴

赤ちゃんや子どもは体温調整機能が未発達で、体に熱がこもりやすく、体温が上昇しやすくなります。また、遊びに熱中してしまい、暑いのを忘れ熱中症になる場合もあります。晴れた屋外では、地面に近いほど気温が高くなるため、子どもは大人以上に暑い環境にいます。

■熱中症予防のポイント



こまめな
水分補給と休息



帽子やベビーカーの日よけで、
直射日光を避ける

通気性、吸湿性の良い素材
薄い色の服を選ぶ

短時間でも子どもを
車内に置き去りにしない



子どもは、自分で予防策をとることができず、症状をうまく伝えられないことも多いので、周りの大人が注意して様子を見てあげましょう。

熱中症かも？と思ったら...

・涼しい場所へ避難 ・服を脱がせて体を冷やす ・水分・塩分の補給
それでも回復しない場合は119番を！！

